

## 【個人テーマ研究のまとめ】

鹿児島県立 古仁屋高等学校 氏名 重留 哲也

### 1 研究主題

運動部活動の現状と課題について

### 2 研究のねらい

本校は、奄美大島の最南端に位置する瀬戸内町唯一の高等学校で、全校生徒 145 名の小規模校である。本校には、野球・サッカー・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・剣道の 6 つの運動部があり、その加入率は運動部が 57.9%、部活動全体が 72.4%（いずれも 21.5.12 現在）である。どの運動部も人数が少ないながらも練習によく励んでいるが、3 年生の引退後は部員不足で大会に出場できない部があったり、過去には活動を停止してしまう部もあったりした。限られた生徒たちが一生懸命部活動に取り組んでいる半面、部員不足など様々な要因で活気が足りなかったり、目標を見失ってしまったりすることもあるようである。そこで、本校の生徒と職員を対象に運動部活動に関するアンケート調査を実施し、本校における運動部活動の現状と課題について考え、運動部活動活性化の一助にしたいと考えた。

### 3 研究経過

平成 21 年 11 月 24 日、生徒用アンケート（資料 1）を全校生徒 145 名に、職員用アンケート（資料 2）を職員 28 名に依頼した。

#### （1）生徒用アンケート（回収 138 名、回収率 95.2%）の結果（資料 3）

調査日現在の運動部加入率は 63.8%で、5 月（生徒会調査時）よりも高くなっているが、男子が加入率 90.8%であるのに対し、女子は 39.7%と低い。文化部に加入する女子 21.9%を考えても女子の部活動加入率が低いといえる。

「運動が好きですか」という質問において「好き」と答えた生徒は全体の 73.2%と割合は高いが、ここでも女子で「好き」と答えた生徒は全体の 63.0%に止まった。運動部に所属する生徒の 85.4%が「好き」と回答しているのに対し、運動部以外の生徒で「好き」と回答したのは 54.0%だった。

「運動が日常生活の中に必要だと思いますか」という質問において「思う」と答えた生徒が全体の 88.4%で、運動部以外の女子の 14.9%が「わからない」と回答した。

「運動が人間形成上に影響力を持っていると思いますか」という質問において、全体で 75.4%の生徒が「思う」と回答した。「思う」と回答したのは運動部に所属する生徒の 79.3%、運動部以外の生徒の 68.0%と所属によって差がでた。

「運動を日常生活の中で計画的に実行していますか」という質問において「自分自身で行っている」と答えたのは全体の 15.9%に止まり、「何もしていない」生徒も 25.4%いた。運動部に所属する生徒の 81.7%が「部活動で行っている」と回答し、部活動が生徒の日常生活における運動の機会として大きな役割を担っていることがうかがえる。

「学校の運動部に意義があると思いますか」という質問において運動部に所属する生徒の 74.4%が「思う」と回答したのに対し、運動部以外の生徒は 58.0%に止まった。運動部に所属する生徒でも、男子は 78.0%、女子は 65.5%と差がみられた。単に性別による意識の差であるのか、男子部と

女子部の運営の仕方に差があるのか考える必要がありそうだ。

「運動部活動することで何が得られると思いますか」という質問（複数回答）に対して、全体で最も割合が高かったのは「体力の向上」88.4%で、次いで「精神面の強化」76.1%、「礼儀やマナー」75.4%であった。運動部以外の生徒で男子の85.7%、女子の57.4%が「勝つための努力や勝利の喜び」を回答しているが、運動部に所属する生徒では男子が66.1%、女子が51.7%に止まり、「技術の向上」「精神面の強化」「友人や仲間」「協調性や責任感」の割合の方が高い。周囲で見ている印象よりも本校の運動部は勝利至上主義ではなく、実際に活動している部員はもっと多岐にわたった全人的成長を期待しているようだ。

運動部以外の生徒を対象にした「運動部に入部しない理由は何ですか」という質問において最も多かったのは「やりたい運動部がない」の30.0%、次いで「文化部・同好会・校外の団体に所属している」26.0%であった。「運動が好きではない」「経済的理由」は6.0%に止まり、「その他」の中には「面倒くさい」「遊びたいから」などの無気力型の回答もみられた。

運動部に所属する生徒を対象にした「運動部に入部したきっかけは何でしたか」という質問において「自分の意志」と答えた生徒が圧倒的に多く42.7%、次いで「同級生の勧誘」17.1%、「先輩の勧誘」14.6%であった。

「運動部活動でどんなことが身につきましたか」という質問（複数回答）においては、「体力がついた」が一番多くて74.4%、次いで「友人や仲間を得られた」58.5%、「礼儀やマナーが身についた」57.3%であった。男女で大きな差がみられたのは「技術が向上した」で男子は67.8%が回答しているのに対して、女子は34.5%だった。

「運動部活動をしていて喜びや楽しさを一番感じるのはどんなときですか」という質問において最も多かった回答は「試合に勝ったとき」で57.3%、次いで「技術の向上や体力の向上を実感したとき」36.6%、「部員同士の連帯感を感じたとき」20.7%だった。男女で差がみられたのは、「顧問の先生や先輩に褒められたとき」で、男子は16.9%に止まったが、女子は27.6%が回答した。

「運動部活動を続けるうえでの悩みは何ですか」という質問（複数回答）において最も多かったのは「技能面」41.5%、次いで「学習面」40.2%だった。男女で差がみられたのは、「学習面」男子47.5%、女子31.0%と、「人間関係」男子8.5%と女子24.1%であった。

「運動部活動の望ましいあり方についてどう思いますか」という質問において最も多かったのは「指導者と部員の相互による活動」51.2%で、次いで「部員による自主的活動」36.6%だった。

「顧問の先生に何を期待しますか」という質問（複数回答）において最も多かったのは「専門的指導」59.8%で、男子では72.9%と圧倒的に多かった。次いで「相談・助言役」23.2%、「生活全般の指導」20.7%だった。気になるのは女子の「その他」20.7%で、「部活に来ない」「生徒ときちんと向き合ってほしい」等の回答が複数に及んだことである。

「運動部活動をより活性化するために何が必要だと思いますか」という質問（複数回答）において最も多かったのは「部員のやる気」72.0%、次いで「部員数」67.1%、「練習内容の工夫や充実」46.3%であった。「部員数」が圧倒的に多いと予想したが、生徒は自分たちのやる気や練習内容の工夫によって解決できると前向きなようである。

## (2) 職員用アンケート（回収16名、回収率57.1%）の結果（資料4）

「本校の運動部活動の状況についてどのように思いますか」という質問において全体では50.0%が「活発である」と回答したのに対し、運動部顧問だけで見ると「活発である」と答えたのは22.2%に止まり、「普通」が一番多く44.4%、次いで「低調である」が33.3%となった。実際に運

動部を指導する顧問の、もう少しどうにかしたいという思いがうかがえる。

「本校の運動部活動に意義があると思いますか」という質問においては、職員の100%が「思う」と回答した。

「運動部活動を通して生徒に何を学んでほしいですか」という質問（複数回答）において最も多かった回答は「礼儀やマナー」で、全体が93.8%、運動部顧問では100%だった。全体において次いで多かったのは、「精神面の強化」81.3%、「協調性や責任感」81.3%で、運動部顧問では、「協調性や責任感」が100%、「体力の向上」「精神面の強化」「勝つための努力や勝利の喜び」が共に88.9%であった。生徒の回答とは若干のずれがあるようである。

「運動部活動の望ましいあり方についてどう思いますか」という質問において最も多かったのは全体75.0%、運動部顧問88.9%とも「指導者と部員の相互による活動」だった。「部員による自主的活動」と答えたのは全体では25.0%だったが、運動部顧問は11.1%に止まった。実際に指導している顧問は、何らかの形で顧問が運営に介入していく必要性を感じているようだ。

「運動部活動をより活性化するために何が必要だと思いますか」という質問（複数回答）において最も多かったのは「部員数」で、全体が81.3%、運動部顧問が77.8%だった。全体と運動部顧問で差が表れたのは、「顧問の先生のリーダーシップ」で全体が43.8%であるのに対して、運動部顧問では77.8%と割合が高い。また、「保護者や周囲の理解」も全体が37.5%であるのに対して、運動部顧問では66.7%にのぼった。やはり、実際に指導している顧問は、自分がリーダーシップをとる必要性を感じており、そのために周囲の理解を求めているようだ。

「部員を確保するための方策をどのように考えますか」という質問において、全体では「部活動の精選や合併を行う」31.3%が最も多く、ついで「今のままでよい（方策はない）」が25.0%であった。運動部顧問では「その他」44.4%が一番多く、「全生徒に体験入部の機会をつくる」というような意見が多数寄せられた。運動部顧問の「何とか方策をたてたい」という思いがうかがえる。また、「部を掛け持ちさせる」「部員が不足する部がでないように調整を行う」と回答が全体ではそれぞれ12.5%と6.3%あったが、運動部顧問では共に0.0%で、部活動に対する認識の差が表れている。

運動部顧問を対象にした「顧問として苦勞されていること、問題点は何ですか」（複数回答）という質問において最も多かった回答は「部員不足」77.8%と「部活動を指導する時間の確保・公務との調整」77.8%だった。次いで「部員のやる気や雰囲気」が55.6%、「部員の生活面の指導」と「部員の学習面の指導」が共に44.4%だった。

「部の練習は週に何日ぐらい実施していますか」という質問において「ほとんど毎日」という回答が100%だったが、「1週間に何日ぐらい練習の指導にできますか」という質問においては、「ほとんど毎日」が55.6%で、「2・3日程度」「ほとんど行けない」という回答が共に22.2%あり、顧問不在で練習している運動部の存在が分かる。安全面の管理や、運動部女子生徒の「部活に来ない」「生徒ときちんと向き合ってほしい」等の回答が気になるところである。上記質問で練習に「ほとんど行けない」と回答した職員は、全員が「公務が多忙」を理由にあげている。

「運動部を指導するとき何に重点を置いていますか」という質問（複数回答）で最も多かったのは「礼儀やマナー」100%で、次いで「体力の向上」「協調性や責任感」が共に88.9%だった。

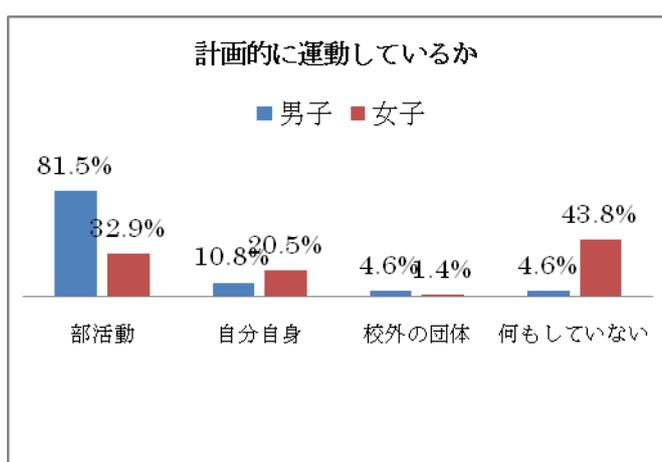
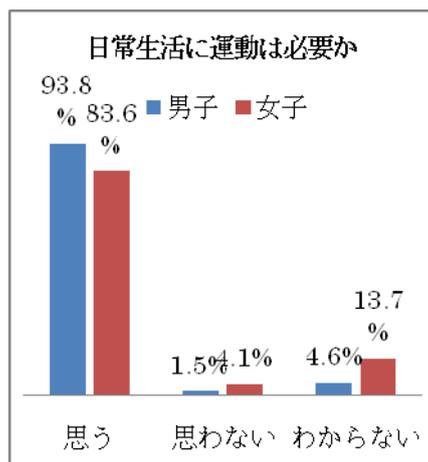
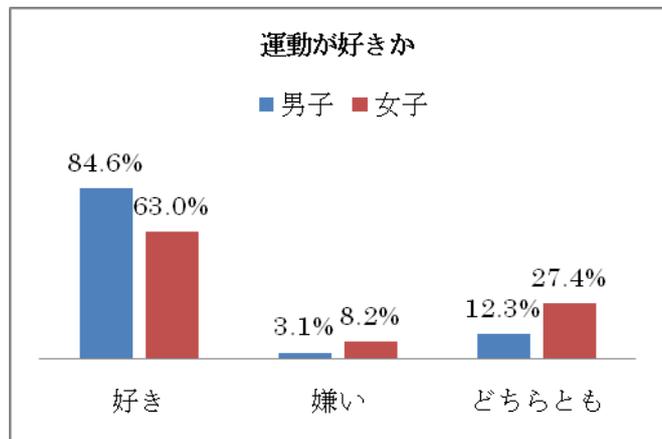
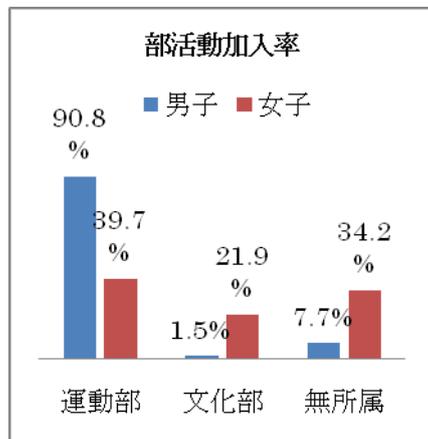
「運動部を指導するときや目標や指導計画をもって指導にあたっていますか」という質問において「目標や指導計画をもって指導している」という回答が55.6%、「多忙でできない」が33.3%、「設定、指導の仕方が分からない、不安がある」が11.1%だった。

「部員はどんなときに一番喜びを感じると思いますか」という質問（複数回答）に対して一番多

かったのは「試合に勝ったとき」で66.7%，次いで「技術や体力の向上を実感したとき」で55.6%，「部員同士の連帯感を感じたとき」が33.3%で，運動部員の回答と一致した。顧問は部員をよく理解しているということだろうか。

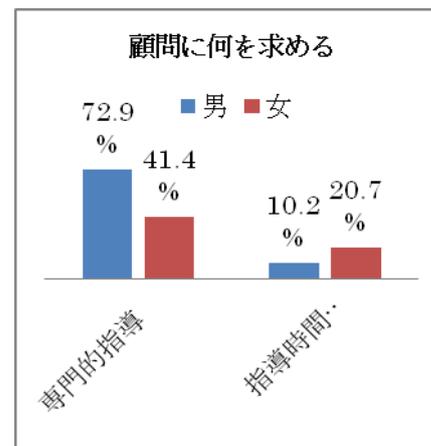
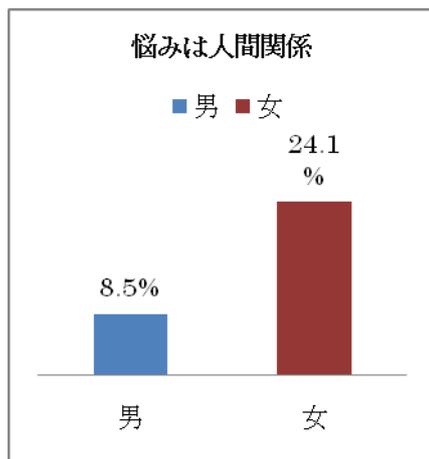
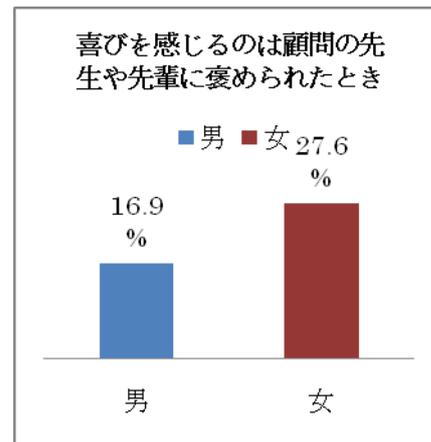
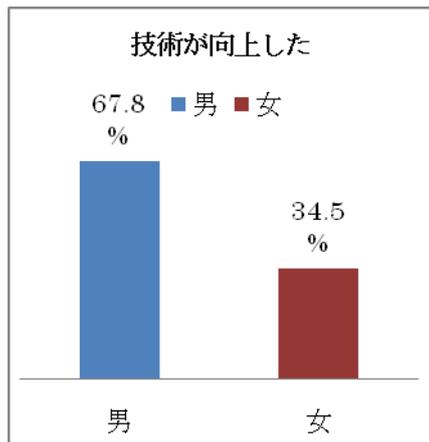
### (3) 考察

性別で比較すると，運動部加入率においても，「運動が好きか」「運動が日常生活に必要なか」「運動を日常生活の中で計画的に実行しているか」という質問項目においても男女に違いがみられた。



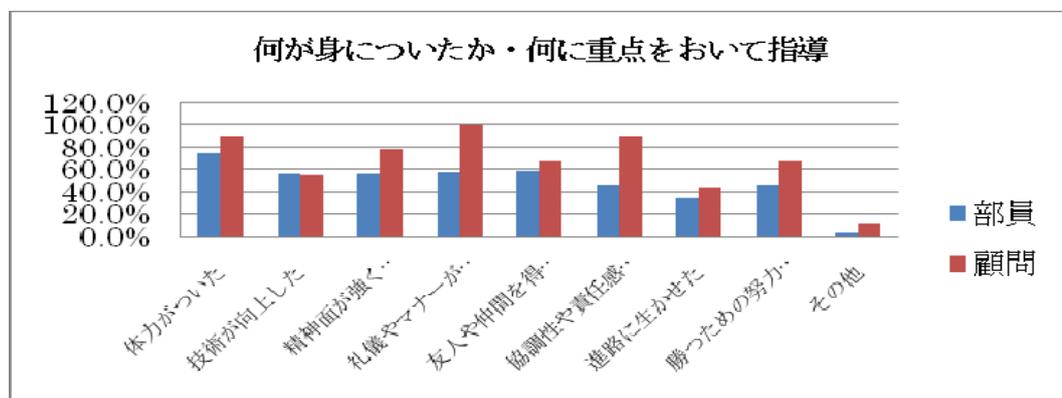
本校の女子対象の運動部は，女子バレーボール部，バスケットボール部，ソフトテニス部，剣道部の4つであるが，生徒数や予算確保の観点から考えると今以上に部活動数を増やすことは困難であると思われる。しかし，運動部加入率が9割を超えてもなお部員不足である男子に比べると，女子の運動部加入についてはまだ掘り起こしが可能なようだ。保健体育科で実施している新体力テストの結果でも，女子の運動能力が全国平均よりも大きく劣っていることが分かるが，女子の運動部加入率をあげて運動に接する機会を増やすことは，運動部の活性化，女子の体力向上や健康増進につながりそうだ。

また，運動部に所属している生徒で性別による差がみられたのが，「運動部活動でどんなことが身についたか」という質問項目の「技術が向上した」という回答，「喜びや楽しさを感じるのはどんなときか」という質問項目の「顧問の先生や先輩に褒められたとき」という回答，「悩みは何か」という質問項目の「人間関係」という回答，「顧問の先生に何を期待するか」という質問項目の「専門的指導」「指導時間の確保」という回答である。



これらの回答の男女差をみると、男子に比べて女子は、技術の向上や専門的指導に重きを置いていないか、もしくは女子の技術指導が非常に困難であるかということが分かる。それよりも、女子は人間関係で悩んだりすることが多く、顧問の先生にきちんと見てもらって、認められたいという欲求が強いようである。「顧問に何を求めるか」という質問項目で、女子の「その他」という回答が多く「部活に来ない」「生徒ときちんと向き合ってほしい」等の回答が複数に及んだことからそれが分かる。

運動部員と運動部顧問の回答を比べてみると「運動部活動でどんなことが身についたか」という質問項目と「運動部を指導するとき何に重点をおいているか」という質問項目の回答で若干の差が生じた。



顧問が指導において重点を置くものの中で「礼儀やマナー」が100%と最も割合が高かったのに対して、部員が部活動で身につけたものの中で「礼儀やマナー」は57.3%で3番目だった。「礼儀やマナー」

ナー」は、職員全体の「運動部活動を通して何を学んでほしいか」という質問項目でも93.8%と最も割合の高かった回答であり、顧問はさらに「礼儀やマナー」の指導に力をいれる必要があるようだ。「協調性や責任感」についても同様のことがいえ、顧問の回答では88.9%と2番目に割合の高い回答であるが、部員の回答は45.1%と6番目に多い割合だった。顧問がある程度部の運営に介入したりリーダーシップをとったりしながら「協調性や責任感」が育つよう努力しなければならないようだ。

#### 4 研究のまとめ

今回の調査で、本校の運動部活動活性化について、女子の加入を勧める必要があることが分かった。また、女子を対象とする運動部の運営において、男子以上に、顧問が練習に付いて人間関係に気を配りながら、部員一人ひとりと向き合い、褒めながら指導することを女子部員は求めているということも明らかになった。運動部活動全体としては、複数の職員から寄せられたように、多くの生徒に運動部活動を体験させる機会を作ることも部員数を増やす方策であると思われる。それでも部員不足で大会に出場できない部がでるようであれば、部活動の精選や合併を考えざるを得ない状況もあるかもしれない。

運動部顧問を対象とした調査では、公務に追われ部活動に参加できない顧問の悩みが浮き彫りとなり、周囲の理解を得て何とか公務と調整したいという思いがうかがえた。多忙のため、指導にあたっての目標や指導計画を練ることすらままならない顧問もいた。しかし、運動部において予期せぬ事故は付き物であり生徒の安全を確保する意味でも、指導において生徒との信頼関係を築くということから考えても、可能な限り部活動に参加してほしいものである。本校ではこのような状態に対処するため、複数顧問制をとっている。その競技を専門とする職員ばかりが負担を負うのではなく、全職員共通理解のもと協力して部活動の運営を行う必要があると思われる。

高等学校学習指導要領解説保健体育編体育編では、運動部の活動について「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」と今回の改定で規定されたことと、「(前述略)運動部の活動は、主として放課後に行われ、特に希望する同好の生徒によって行われる活動であることから、生徒の自主性を尊重する必要がある。また、生徒に任せすぎたり、勝つことのみを目指したりした活動にならないよう留意する必要がある。(後述略)」とある。調査結果をみる限りでは、本校の運動部活動において勝利至上主義に走るような傾向はないようであるが、学校教育の一環として、生徒の心身の発達を促す運動部活動の活性化についてさらなる努力が必要だと感じた。

#### 5 参考文献等

高等学校学習指導要領解説保健体育編体育編 平成21年7月 文部科学省







以下は運動部の顧問を担当されている先生にお尋ねします。

- 7 顧問として苦勞されていること、問題点は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。
- ア 部員不足      イ 予算の確保      ウ 施設・用具等の不足      エ 専門的な指導  
オ 部員のやる気や部の雰囲気      カ 部員の生活面の指導      キ 部員の学習面の指導  
ク 部員の練習時間の確保      ケ 部活動を指導する時間の確保・公務との調整等  
コ 担任や他の職員の理解や支援      サ 保護者の理解やバックアップ  
シ プライベートの時間を確保できない      ス 自分の家族の理解  
セ その他 ( )
- 8 部の練習は週に何日ぐらい実施していますか。
- ア ほとんど毎日      イ 2・3日程度  
ウ 不定期
- 9 1週間に何日ぐらい練習の指導にすることができますか。
- ア ほとんど毎日      イ 2・3日程度  
ウ ほとんど行けない →
- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| ア 校務が多忙           | イ 専門的指導ができない |
| ウ 生徒の自主的活動に任せればよい |              |
| エ 意欲がわからない        |              |
| オ その他 ( )         |              |
- 10 運動部を指導するとき何に重点を置いていますか。当てはまるものをすべて選んでください。
- ア 体力の向上      イ 技術の向上      ウ 精神面の強化  
エ 礼儀やマナーを身につけさせる      オ 友人や仲間づくり  
カ 協調性や責任感を身につけさせる      キ 将来の進路に役立てさせる  
ク 勝つための努力や勝利の喜び  
ケ その他 ( )
- 11 運動部を指導するとき目標や指導計画をもって指導にあたっていますか (文書として作成しているかではなく、年単位やシーズン、大会に向けたプランを練っているか)。当てはまるものをひとつ選んでください。
- ア 目標や指導計画をもって指導している      イ 多忙でできていない  
ウ 設定、指導の仕方が分からない、不安がある      エ 必要ない
- 12 部員はどんなときに一番喜びを感じるとお思いますか。
- ア 試合に勝ったとき      イ 顧問の先生 (指導者) や先輩に褒められたとき  
ウ 顧問以外の先生や地域の方々に褒められたとき      エ 技術や体力の向上を実感したとき  
オ 部員同士の連帯感を感じたとき  
カ その他 ( )

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

運動部活動に関するアンケート(生徒用)集計表

対象	番号	質問内容	記号	項目	全体			運動部以外			運動部所属		
					男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体
全	1	学年	ア	1年生	13.8%	16.7%	30.5%	0.0%	28.0%	28.0%	15.9%	9.8%	25.7%
			イ	2年生	16.7%	19.6%	36.3%	4.0%	30.0%	34.0%	26.8%	14.6%	41.4%
			ウ	3年生	16.7%	16.7%	33.4%	10.0%	28.0%	38.0%	22.0%	11.0%	33.0%
	2	性別	ア	男子	47.2%	53.0%	100.0%	12.0%	86.0%	100.0%	64.7%	35.4%	100.0%
			イ	女子									
			ウ	その他									
	3	部活動をしていますか。	ア	運動部に入部している	90.8%	39.7%	63.8%						
			イ	文化部に入部している	1.5%	21.9%	12.3%						
			ウ	入部していない	7.7%	34.2%	23.9%						
	4	運動が好きですか。	ア	好き	84.6%	63.0%	73.2%	71.0%	79.3%	54.0%	86.4%	79.3%	85.4%
イ			嫌い	3.1%	8.2%	5.8%	0.0%	6.9%	8.0%	3.4%	6.9%	4.9%	
ウ			どちらとも言えない	12.3%	27.4%	20.3%	28.6%	13.8%	34.0%	10.2%	13.8%	9.8%	
5	運動が日常生活の中に必要だと思いますか。	ア	思う	93.8%	83.6%	88.4%	100.0%	70.2%	78.0%	93.2%	93.1%	93.9%	
		イ	思わない	1.5%	4.1%	2.9%	0.0%	6.4%	6.0%	1.7%	0.0%	1.2%	
		ウ	わからない	4.6%	13.7%	9.4%	0.0%	14.9%	14.0%	5.1%	6.9%	4.9%	
6	運動が人間形成上に影響力を持っていると思いますか。	ア	思う	78.5%	72.6%	75.4%	57.1%	66.0%	68.0%	81.4%	75.9%	79.3%	
		イ	思わない	3.1%	1.4%	2.2%	14.3%	0.0%	2.0%	1.7%	3.4%	1.2%	
		ウ	わからない	18.5%	27.2%	21.7%	28.6%	23.4%	26.0%	16.9%	20.7%	19.5%	
7	運動を日常生活の中で計画的に実行していますか。	ア	部活動で行っている	81.5%	32.9%	55.8%	28.6%	8.5%	10.0%	88.1%	69.0%	81.7%	
		イ	自分自身で行っている	10.8%	20.5%	15.9%	28.6%	21.3%	24.0%	8.5%	17.2%	11.0%	
		ウ	校外の団体で行っている	4.6%	1.4%	2.9%	14.3%	2.1%	4.0%	3.4%	0.0%	2.4%	
8	学校の運動部に意義があると思いますか。	ア	思う	73.8%	64.4%	68.8%	42.9%	57.4%	58.0%	78.0%	65.5%	74.4%	
		イ	思わない	6.2%	9.6%	8.0%	0.0%	8.5%	8.0%	6.8%	10.3%	7.3%	
		ウ	分からない	20.0%	24.7%	22.5%	57.1%	23.4%	30.0%	15.3%	24.1%	18.3%	
9	運動部活動をする中で何が得られると思いますか。(複数回答)	ア	体力の向上	89.2%	87.7%	88.4%	85.7%	86.6%	82.0%	89.8%	93.1%	90.2%	
		イ	技術の向上	78.5%	46.6%	61.6%	71.4%	38.3%	44.0%	79.7%	55.2%	72.0%	
		ウ	精神面の強化	81.5%	71.2%	76.1%	85.7%	61.7%	68.0%	81.4%	75.9%	78.0%	
		エ	礼儀やマナー	84.6%	67.1%	75.4%	85.7%	57.4%	64.0%	84.7%	75.9%	81.7%	
		オ	友人や仲間	67.7%	68.5%	68.1%	57.1%	57.4%	60.0%	69.5%	75.9%	73.2%	
		カ	協調性や責任感	61.5%	53.4%	57.2%	85.7%	46.8%	54.0%	59.3%	58.6%	61.0%	
		キ	将来の進路の役立つ	55.4%	38.4%	46.4%	42.9%	34.0%	36.0%	57.6%	41.4%	53.7%	
		ク	勝つための努力や勝利の喜び	67.7%	57.5%	62.3%	85.7%	57.4%	64.0%	66.1%	51.7%	61.0%	
		ケ	その他	3.1%	2.7%	2.9%	0.0%	2.1%	2.0%	3.4%	3.4%	3.7%	
		運動部以外	10	運動部活動に入部しない理由は何ですか。	ア	文化部・同好会・校外の団体に所属している				14.3%	25.5%	26.0%	
イ	運動が好きではない							14.3%	4.3%	6.0%			
ウ	時間がとれない							0.0%	12.8%	12.0%			
エ	経済的理由							14.3%	4.3%	6.0%			
オ	やりたい運動部がない							28.6%	27.7%	30.0%			
カ	その他				14.3%	10.6%	12.0%						
運	11	運動部に入部したきっかけは何でしたか。	ア	自分の意志							40.7%	48.3%	42.7%
			イ	先輩の勧誘							16.9%	6.9%	14.6%
			ウ	同級生の勧誘							18.6%	17.2%	17.1%
			エ	先生の勧め							8.5%	6.9%	7.3%
			オ	親の勧め							0.0%	6.9%	2.4%
			カ	家族の勧め							3.4%	0.0%	2.4%
			キ	なんとなく							8.5%	6.9%	7.3%
	12	運動部活動でどんなことが身につきましたか。	ア	体力がついた							78.0%	65.5%	74.4%
			イ	技術が向上した							67.8%	34.5%	56.1%
			ウ	精神面が強くなった							57.6%	48.3%	56.1%
エ			礼儀やマナーが身についた							61.0%	55.2%	57.3%	
オ			友人や仲間を得られた							52.5%	62.1%	58.5%	
カ			協調性や責任感が身についた							47.5%	34.5%	45.1%	
キ			進路に生かされた							39.0%	20.7%	34.1%	
動	13	運動部活動をしていて喜びや楽しさを一番感じるのはどんなときですか。	ア	試合に勝ったとき							64.4%	48.3%	57.3%
			イ	顧問の先生や先輩に褒められたとき							16.9%	27.6%	19.5%
			ウ	顧問以外の先生や地域の方々に褒められたとき							5.1%	0.0%	2.4%
			エ	技術の向上や体力の向上を実感したとき							35.6%	44.8%	36.6%
			オ	部員同士の連帯感を感じたとき							20.3%	20.7%	20.7%
カ	その他							1.7%	0.0%	1.2%			
部	14	運動部活動を続けるうえでの悩みは何ですか。(複数回答)	ア	体力面							25.4%	27.6%	26.8%
			イ	技能面							44.1%	41.4%	41.5%
			ウ	学習面							47.5%	31.0%	40.2%
			エ	人間関係							8.5%	24.1%	14.6%
			オ	経済面							10.2%	13.8%	12.2%
カ	その他							5.1%	6.9%	6.1%			
所	15	運動部活動の望ましいあり方についてどう思いますか。	ア	部員による自主的活動							30.5%	48.3%	36.6%
			イ	指導者中心の活動							6.8%	0.0%	3.7%
			ウ	指導者と部員の相互による活動							57.6%	37.9%	51.2%
			エ	その他							0.0%	3.4%	1.2%
属	16	顧問の先生に何を期待しますか。(複数回答)	ア	専門的指導							72.9%	41.4%	59.8%
			イ	生活全般の指導							25.4%	10.3%	20.7%
			ウ	学習面の指導							13.6%	10.3%	13.4%
			エ	リーダーシップ							20.3%	6.9%	17.1%
			オ	相談・助言役							25.4%	17.2%	23.2%
			カ	指導時間の確保							10.2%	20.7%	14.6%
			キ	その他							3.4%	20.7%	9.8%
属	17	運動部活動をより活性化するために何が必要だと思いますか。(複数回答)	ア	部員数							71.2%	58.6%	67.1%
			イ	施設・用具の充実							40.7%	20.7%	34.1%
			ウ	専門的指導者による指導							33.9%	17.2%	29.3%
			エ	部員のやる気							74.6%	72.4%	72.0%
			オ	顧問の先生のリーダーシップ							30.5%	34.5%	32.9%
			カ	練習内容の工夫や充実							50.8%	41.4%	46.3%
			キ	練習時間の確保							32.2%	13.8%	26.8%
			ク	保護者や周囲の理解							33.9%	10.3%	26.8%
ケ	その他							3.4%	3.4%	3.7%			

運動部活動に関するアンケート(職員用)集計表

対象	番号	質問内容	記号	項目	全体	運動部顧問
全 体	1	本校の運動部の状況についてどのように 思いますか。	ア	活発である	50.0%	22.2%
			イ	低調である	18.8%	33.3%
			ウ	普通	31.3%	44.4%
	2	本校の運動部活動に意義があると思いま すか。	ア	思う	100.0%	100.0%
			イ	思わない	0.0%	0.0%
			ウ	わからない	0.0%	0.0%
	3	運動部活動を通して生徒に何を学んでほし いですか。(複数回答)	ア	体力の向上	75.0%	88.9%
			イ	技術の向上	50.0%	77.8%
			ウ	精神面の強化	81.3%	88.9%
			エ	礼儀やマナー	93.8%	100.0%
			オ	友人や仲間づくり	62.5%	88.9%
			カ	協調性や責任感	81.3%	100.0%
			キ	将来の進路に役立たせる	43.8%	66.7%
			ク	勝つための努力や勝利の喜び	68.8%	88.9%
	4	運動部活動の望ましいあり方についてどう 思いますか。	ア	部員による自主的活動	25.0%	11.1%
			イ	指導者中心の活動	0.0%	0.0%
			ウ	指導者と部員の相互による活動	75.0%	88.9%
			エ	その他	0.0%	0.0%
	5	運動部活動をより活性化するために何が 必要だと思いますか。(複数回答)	ア	部員数	81.3%	77.8%
			イ	施設・用具の充実	37.5%	44.4%
			ウ	専門の指導者による指導	50.0%	33.3%
			エ	部員のやる気	43.8%	55.6%
			オ	顧問の先生のリーダーシップ	43.8%	77.8%
			カ	練習内容の工夫や充実	43.8%	66.7%
キ			練習時間の確保	18.8%	22.2%	
ク			保護者や周囲の理解	37.5%	66.7%	
6	部員を確保するための方策をどのように考 えますか。(複数回答)	ア	今のままでよい(方策はない)	25.0%	22.2%	
		イ	部活動の精選や合併を行う	31.3%	22.2%	
		ウ	入部を義務付ける	18.8%	22.2%	
		エ	部を掛け持ちさせる	12.5%	0.0%	
		オ	部員が不足する部がでないよう調整を行う	6.3%	0.0%	
運 動 部 顧 問	顧問として苦勞されていること、問題点は 何ですか。(複数回答)	ア	部員不足		77.8%	
		イ	予算の確保		22.2%	
		ウ	施設・用具等の不足		22.2%	
		エ	専門的な指導		22.2%	
		オ	部員のやる気や雰囲気		55.6%	
		カ	部員の生活面の指導		44.4%	
		キ	部員の学習面の指導		44.4%	
		ク	部員の練習時間の確保		0.0%	
		ケ	部活動を指導する時間の確保・公務との調整		77.8%	
		コ	担任や他の職員の理解や支援		33.3%	
		サ	保護者の理解やバックアップ		22.2%	
		シ	プライベートの時間を確保できない		33.3%	
		ス	自分の家族の理解		11.1%	
		セ	その他		0.0%	
8	部の練習は週に何日ぐらい実施しています か。	ア	ほとんど毎日		100.0%	
		イ	2・3日程度		0.0%	
		ウ	不定期		0.0%	
9	1週間に何日ぐらい練習の指導にできるこ とができますか。	ア	ほとんど毎日		55.6%	
		イ	2・3日程度		22.2%	
		ウ	ほとんど行けない		22.2%	
10	上記で、ウ「ほとんど行けない」と答えた人 の理由	ア	校務が多忙		22.2%	
		イ	専門的指導ができない		0.0%	
		ウ	生徒の自主的活動に任せればよい		0.0%	
		エ	意欲がわかない		0.0%	
11	運動部を指導するとき目標や指導計画を もって指導にあたっていますか。	ア	体力の向上		88.9%	
		イ	技術の向上		55.6%	
		ウ	精神面の強化		77.8%	
		エ	礼儀やマナー		100.0%	
		オ	友人や仲間づくり		66.7%	
		カ	協調性や責任感		88.9%	
		キ	将来の進路に役立たせる		44.4%	
		ク	勝つための努力や勝利の喜び		66.7%	
12	部員はどんなときに一番喜びを感じると思 いますか。	ア	目標や指導計画をもって指導している		55.6%	
		イ	多忙でできない		33.3%	
		ウ	設定、指導の仕方が分からない、不安がある		11.1%	
		エ	必要ない		0.0%	
		オ	試合に勝ったとき		66.7%	
		イ	顧問の先生や先輩に褒められたとき		22.2%	
		ウ	顧問以外の先生や地域の方々に褒められたとき		11.1%	
		エ	技術の向上や体力の向上を実感したとき		55.6%	
		オ	部員同士の連帯感を感じたとき		33.3%	
		カ	その他		0.0%	